



会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



ほたる狩り

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 P M 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 ☎ 5775

会長 鈴木善作
幹事 高橋辰美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 766 号 1974.8.13 (火) (晴) No.7

会報はご家族みんなで読みましょう

◆出席報告

本日の出席

会員数	68名
出席数	46名
出席率	67.65%

前回の出席

前回出席率	70.59%
修正出席数	62名
確定出席率	91.18%

欠席者

阿宗君、阿部(襄)君、風間君、佐藤(伊)君、半田君、石井君、五十嵐(伊)君、進藤君、今野君、田中君、佐藤(衛)君、菅原君、男網君、菅君、齋藤(栄)君、津田君、齋藤(信)君、佐藤(昇)君、佐々木君、富樫君、鷺田君、高橋(辰)君

メーカーアップ

小野寺君—酒田 R.C
笹原君—仙台 R.C
藪田君—新潟 R.C
阿部(公)君、風間君、森田君、佐藤(順)君、山本(隆)君、高橋(良)君、佐藤(衛)君、富樫君、中江君、鈴木(弥)君、谷口君
—鶴岡西 R.C

◆ビジター

五十嵐喜美雄君、白崎伸二君、林権之助君—鶴岡西 R.C

◆点 鐘 鈴木会長 12:30

◆ロータリーソング
(それでこそロータリー)

◆ビジター紹介

◆会長歓迎の言葉

食 事

◆会長報告

ガバナーよりの来信
郡山ロータリーよりの来信
その他

◆幹事報告

◆委員会報告 会員増強委員長
五十嵐三郎君

◆公式名簿注文 (2ドル50セント)
事務局 山下さん迄

◆誕生お祝、皆出席祝者表彰

◆温海クラブに於けるインターシティ・セネラル・フォーラム出席者選定 (35名以上)

- ・48年1月以降入会者全員(14名)出席義務
- ・他に各委員会より必ず代表1名選定 (18名) 20日マデ報告

・会長、幹事、外希望者

◆人数は大地に属する(スライド・セット)

注文(11ドル) 山下さん

◆中野君台湾訪問帰朝報告

◆出席委員会報告

◆会長報告ガバナーよりの来信

鶴岡ロータリークラブ会長

鈴木善作殿

謹啓 このたびの公式訪問に際しては、いろいろと御高配を賜り誠にありがとうございました。

去る8月5日の会長、幹事の懇談に於ては約1時間、主として貴クラブの運営につきお話し合いましたが、何か参考となれば幸いです。引続いてのクラブ協議会では、役員、理事及び委員長を中心として2時間にわたり今年度の活動計画に関して熱心に討議され誠に意義深いものでありました。

翌6日の例会ではロビンスR・I会長の今年度の呼びかけと私の所信の一端を述べて公式訪問の趣旨にそうべく努めました。

さて、貴クラブは早坂直前ガバナーと石黒分区代理のホームクラブであり、その方々の直接指導を受ける機会に恵まれておることは誠に幸いであります。また会員各位がロータリーの精神の高揚をそのまま行動に移すべく努力されておることは御同慶にたえません。

今後はさらに会員の増強と当地区ロータリーの拡大に意をそそがれて、貴クラブがますます発展されることをお祈り申し上げるとともに当地区におけるその指導的役割をはたされますことをあわせてお願い申し上げて御挨拶の詞といたします。 敬具

ガバナー 大原 尊一郎

追伸 お土産までいただき誠にありがとうございました。

◆郡山ロータリーよりの来信

盛夏の候貴会益々御隆盛なによりと御慶び申し上げます。

過日出羽三山ワンダーフォーゲルで貴地参上の際は案内人の手違と私の不注意で社会奉仕委員会の方々に多大なる御迷惑を相懸け申訳なく御詫び申し上げます。

御厚志の大きな西瓜はバスで湯殿山の休憩所に先行、山水に冷しおきワンダーフォーゲルの終わったところで子供達とおいしく頂戴致しました。

貴会の好意と趣旨は、引率の先生や子供達に説明致しおきました。

尚、今回の行為につきましましては小生一人参

加の為鶴岡クラブに立寄る事も出来ず残念に存じおります。

当会の微意は宿坊の御主人にニコニコボックスに献金と御礼の伝言依頼しておきました。御容赦賜り度く願ひ上げます。 拝

◆国際ロータリー第353区山形県庄内分区
インターシティ・ゼネラル・フォーラムの
ごあんない

昭和49年8月1日

各ロータリークラブ会長、幹事殿

R・I 353区山形県庄内分区
分区代理 石黒 慶之助
ホストクラブ 温海R・C
会長 本間儀左衛門

盛夏の候皆様には益々御健勝のことと存じます。

標記の件について先にご繁忙のところご足勞願ひしましたが、下記の通り開催される事になりました。多数参加くださる様お待ちします。庄内分区各ロータリークラブの御協力を得て成功に導きたく、ホスト温海クラブも全力をあげて準備いたします。

記

1. と き 昭和49年9月8日(日)
9:00～9:55 登録
10:00～12:00 フォーラム
12:00～13:00 昼食
13:00～15:00 フォーラム
2. ところ 温海温泉「グランドホテル」
3. 前夜懇談会 9月7日(土)17:00～19:00
温海温泉「あつみホテル」
(出席すべき人)ガバナー・フォーラムリーダー・アドバイザー・モデレーター、ホスト会長
4. 登録料 各クラブ人頭負担金

1人当り 600円

出席者 1人当り 1,500円

各クラブ共8月20日まで出席者名及び職業分類と出席分科会を記入してご提出下さる様お願いいたします。

※各分科会には平均になる様人員の配分方お願いいたします。

分科会 テーマ

(クラブ奉仕A)……SAA、出席、親睦、プログラム、雑誌、ロータリー情報会報、広報

ロータリー精神を振り起こせ

人を作ることによって

(a)会員の質の向上をはかり

(b)出席の向上を計るにはどうすればよい

か

(クラブ奉仕B) ……職業分類、会員増強、
会員選考(親睦、ロータリー情報)

ロータリー精神を振り起こせ

優秀な会員をふやすことによって

(a) 会員増強はクラブにいかなる影響を与えるか

(b) 優秀な会員とはいかなる人であるか

(職業奉仕)

ロータリー精神を振り起こせ

あらゆる行動にロータリーを生かすことによって

(a) 我々の職業に四つのテストは活かされているか

(b) 職業奉仕強調週間にはどんな企画を期待するか

(社会奉仕)

ロータリー精神を振り起こせ

青少年と共に働くことによって

(a) 「地域社会の求めている奉仕活動は何か」またこれを知るにはどうすればよいか

(b) I・C 並 R・A・C の設立は我々にどんな影響を与えるか

(国際奉仕)

ロータリー精神を振り起こせ

平和への道を進むことによって

(a) 世界社会奉仕としてクラブはどんな活動が出来るか

(b) ロータリー財団への身近な協力は何か

全体会議テーマ

我々は今後20年間にどのように取り組むべきか。また我々の子孫に何を残すべきか。にきまりましたので各クラブより1名3分間位の発言者を予定していただきます。

クラブ奉仕A モデレーター 小松久平(八幡)

クラブ奉仕B 大川俊一(鶴岡西)

職業奉仕 石垣良一(遊佐)

社会奉仕 阿部博邦(余目)

国際奉仕 伊藤春雄(酒田東)

◎昭和48年1月以降入会の方は全員義務出席願います。

◎各委員会より1名は必ず義務出席願います。

◎その他出来るだけ多くの会員の方ご出席願います。

◆ロータリー情報委員会

主 題 張紹淵君、山本隆男、津田晋介

◎世代間の断層をなくそう。

◎社会奉仕は指導力を発揮する機会を提供する。

◎会員増強委員会の任務概要。

◎世代間の断層をなくそう。

……ロータリーは年をとって行くと共に、勿論、また賢くなって行きます。しかし、ロータリーは初期のささやかな存在から今日の人を眩惑させるような偉大さまで、築き上げるのに功績のあった先輩の会員を今、尚多数擁護してはおりますが、ロータリーは決して「老人のクラブ」ではありませんのです。われわれは、年月の流れと共に、ロータリーは「心臓の若さ」を保たせねばなりません。そして、それを達成する唯一の方法は、脈打つロータリーの血管に絶えず、若い血液を注ぐことであります。

そこで、今後、会員候補者を物色する際には、年輩の社長だけでなく、若手の、そして、特に小規模の、実業乃至専門職業にたずさわっている人に目を向けることです。ロータリーは、ややもすると、小規模の事業主を見落としがちであります。そして、現実には彼らは居るのです。人材がいくらかもあるようです。しかも、ロータリーからの「名誉ある」入会歓迎の声を待ち望んでいる場合が非常に多いのであります。確かに、ロータリーは年をとって行きます。けれどもロータリーに「世代間の断層」があってはならないのです。そのためにあくまでも、このように、努力をしようではありませんか。

◎社会奉仕は指導力を発揮する機会を提供する。

ロータリーの云う、社会奉仕は、結局は、「奉仕の理想」をロータリアン個人として、或いは、他人と共におこなうことであります。既に、国際ロータリーでは、小委員会として全世界中に同じく活動を続け、指導力を発揮して、皆さんに機会を提供しているものには①地域安全委員会、②身体障害児童委員会、③インターアクト委員会、④ローターアクト委員会、⑤都市一農村の関係委員会、⑥奨学金・表彰・学費代与委員会、⑦招待学生委員会、⑧青少年委員会があり、更に、⑨パンフレット15の、「あなたの地域を知れ」と云う文献には、種々の奉仕活動の具体的な示唆があると共に、⑩「汚れた、われわれの住む世界をいかにすれば、清潔(キレイ)になるか」の、示唆が書かれてあって、一層指導力を発揮する機会を提供できましょう。(パンフレット609)

◎会員増強委員会の任務の概要

……は、①クラブの充填、未充填の職業分類表を常に検討し、②かつ、開放された職業分類を充填するよう、その適格な人物を理事会に、③積極的に推薦することです。

◆卓話とマナー

東京東村山 矢沢鶴松君
—THE ROTARY-NO-TOMO AUG.
VOLZZ No. 8より抜萃—

1.卓話中に「友」誌、会報など音をたててめくったりしないこと。話をきいている時はものを読まないのが礼儀。2.いねむりは失礼多忙の中を卓話のため来てくれたのですからねむくともいねむりはしないこと。たとえ話が下手でも辛抱して聞けば忍耐力を養えます。3.私語を慎しむこと。となりの人と私語されると講師はとても話しくいものです。4.講師には30分の時間を必ず与えること、30分のつもりで用意した話を25分に縮めたり、20分に切りつめたりすることがよくありますが、これも失礼です。5.講師に背を向けないこと。会長、幹事、又テーブルの座席の都合で背をむけたままで聞いている人がいますがイスの向きをかえてむかい合うようにすべきです。6.中座、早退をしないこと。1時6分をすぎるとザワザワと早退するのは講師にとっては実に不愉快です。話の途中で席を立つ、こんな失礼な話はありません。外部講師の時は特に。7.空席をうめること。前列とか中退者の空席は齒のぬけたようで話しくいものです。後席の人はまえの方の空いた席にうつるようにすべきです。講師に対する思いやりがほしいものです。8.話中はうなずいて横を向いたり、わき見をしないで講師と対面するようにし、ときどきうなずいて聞くこと。9.講師にお礼をのべよ。話のあと近くの席の会員が、お話ありがとう。興味があったとか、わかりやすかった。おもしろい楽しい話でありましたとか、一言でよいから感想とお礼の言葉をのべるのが礼儀。10.卓話の内容をのせた会報など後送するよう心がけたい。(牧師)

◆幹事報告

(1) 例会日、時間変更

・山形西R・C

8月19日(月) 山形大学合唱団帰朝歓迎会のため

8月23日(金) P・M6時

山形グランドホテル

・山形北R・C

8月22日(木) ボーリング大会及び納涼パーティのため、8月22日

(木) P・M4:30 ボーリング大会、6時パーティ

於 ファミリーホール

◆会員増強委員会よりお願い 五十嵐三郎君
会員の増強に当って次の事項について御協

力頂きたい。

1. 会員の若返りについて。
2. 今年度増強目標を10名以上としたい。
3. クラブ委員会に対し分類表と推薦カードをその員数だけ配布します。

◆台湾訪問帰朝報告

中野清吾君

去る7月22日台中港区ロータリークラブに対し、鈴木当クラブ会長のメッセージを持参致しました。この地区は345地区で中江、張両君の御出身地でもあり、大変御親切にして頂きました。

☆例会の模様について

中江君の学校の1年後輩で現在国際奉仕委員長の蔡君の出迎えを受け、更に当日は例会日でありましたが、時間と場所を変更して歓迎して下さいました。会長の歓迎の挨拶、鶴岡ロータリークラブの説明、私達の紹介がありました。会員は30名で、会員増強に力を入れ、又若い人も居りました。半々位の感じでした。又このクラブは青梅及び塀クラブと姉妹クラブになって居るとのことです。丁度新穂君が持参したオールドがあったのでそれで乾盃しました。私達のメインテーブルは40才以上の会員が多く、日本語で呼び掛けてくれました。高田、盛岡、下羽三山等に詳しくなつかしく話し掛けて下さいました。そしていつしか昔の流行歌も出て来る様な状態でした

☆台湾についての感想

1. 台湾も世界の経済と一つであり不景気風が吹いて居た様です。
2. 日本との経済的関係が強く、日本の影響は大きく合弁会社も非常に多いとのことです。
3. 教育が非常に良く普及され、更に国家と国旗を強く結びつけて居ると云う印象を受けました。
4. 街特に駅、公園、観光地等は清掃され紙くず一つ無い様な状態でした。
5. 料理は四川、北平、漢東料理の区分のない万人向きの味の料理になった様です。
6. 日本と同様物事の変化は大変早いとのことです。
7. 台湾には国立故宮博物館(5千年の歴史をもつ国宝級の器物や書画24万点が保存されている。)や中国建築様式の龍山寺(230年前のもの)孔子廟があり、古いものや自然環境を大切にす国民であると感しました。

この様な楽しい思い出深い旅が出来たことについてロータリアンの友情と中江、張君の御厚情によるもので厚く御礼申し上げます。

(要旨)